

海外貴金属・非鉄市況

2010/3/11 8:00
岡藤商事株式会社

ニューヨーク市場							東京市場		
	限月	始値	高値	安値	終値	前日比	換算値	前日帳入値	換算値比
金	3月	1,127.1	1,127.1	1,106.9	1,107.8	-14.2	3,234	3,272	-38
	4月	1,121.5	1,128.3	1,103.1	1,108.1	-14.2	(先限)		
銀	3月	1735.0	1754.0	1699.4	1699.4	-32.4	50.1	51.1	-1.0
	4月	1729.5	1763.5	1696.0	1700.8	-32.0	(先限)		
白金	4月	1594.0	1618.2	1579.7	1590.2	-6.7	4,617	4,636	-19
	7月	1594.9	1619.6	1585.0	1594.9	-6.5	(先限)		
パラジウム	3月	463.75	463.75	463.75	463.75	-4.55	1,349	1,359	-10
	6月	467.55	477.65	460.00	464.65	-4.65	(先限)		

ロンドン銅		BID(買値)	ASK(売値)	前日比
3ヶ月	(公式価格)	7,569.0	7,570.0	135.0
	(カーブ終値)	7,440.0	7,441.0	-74.0

ドル円	現在値	東京終値
		90.52

【NY貴金属・LME非鉄】

10日のNY金相場は、手仕舞い売りから下落した。4月限は1108.10ドルと前日終値から14.20ドル安と続落。中心限月終値ベースでは約2週間ぶりの安値。時間外取引では小幅な値動きで高値圏を推移。朝方はこの流れを引き継ぎ堅調に寄り付いた後、中国をはじめ各国の良好な経済指標を眺め、強含んでいた。しかしその後は、ドルの軟化が続いたにもかかわらず値を落とし続けた。アナリストらは株価や原油の動き、また中国当局者の金塊購入への慎重な発言など、複数の要因が圧迫材料になったとみている。原油はこの日続伸したものの、激しい値動きとなった。一時的な原油安につれた金塊相場は事前設定の売り注文を誘い、下げ幅を拡大した模様。また、ギリシャの財政問題への懸念が後退するにつれ金相場の投資先としての魅力が薄れたことも売りを誘った一因と見られている。一方、白金(欧州スポット価格)は、10日アジアは1588.00ドルで始まる。東京15時30分で1605.25。欧州で1614.50高値。NYでは1595割れで1574.50安値までの押しとなる。反発して1592ドルでの東京11日6時過ぎ推移。

【為替】

10日のNY市場では、ドルがユーロに対して下落したほか、日銀が追加金融緩和策の可能性を探るとの見方が広がり円も値を下げた。堅調な欧米株式市場を背景に投資家のリスク許容度が全体的に高まり、高利回り通貨に資金が流れた。午後終盤の取引で、ユーロドルは0.4%高の1.3650ドル。日中の安値は1.3546ドル、高値は1.3679ドルと値動きの荒い展開となった。ユーロ円は0.9%上昇。ドル円は0.6%高の90.51円。一時は90.82円の高値をつけた。ポンドは引き続き圧迫された。英国の信用状況や政治的な不透明さに対する懸念が根強い。ポンドドルは0.2%安の1.4967ドル。

[商品先物取引に係る留意点について]

2010年3月1日現在

商品取引員 日本商品先物取引協会会員

岡藤商事株式会社

・取引証拠金について

商品先物取引は委託に際して取引証拠金等の預託が必要になります。最初に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、2010年3月1日現在、最低取引単位（1枚）当り最高165,000円、最低18,000円です。ただし、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので、注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。

・手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なり、2010年3月1日現在、最低取引単位（1枚）当り最高9,135円、最低714円です（片道・消費税込・先限ベース）。

※ 取引証拠金・手数料については、銘柄・約定値段等によって変わりますので、この書類の作成日以降の額はその都度担当者へご確認ください。

・商品先物取引のレバレッジについて

商品先物取引による取引の額は、最初に預託する取引本証拠金の額に比べて著しく大きい額となります。具体的には、商品によっても異なりますが、2010年3月1日現在、取引本証拠金の額の約13倍から約32倍の額にもなります（先限ベース）。

・商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は相場の変動によって損失が生ずるおそれがあります。また、取引本証拠金の額に比べて何十倍もの金額の取引を行うため、その損失額は預託している取引証拠金等の額を上回ることがありえます。

◆ お取引に関するご相談は

① 当社お客様相談窓口：東京都中央区新川 2-12-16 TEL 03-3552-1203

② 日本商品先物取引協会相談センター本部：東京都中央区日本橋小網町 9 番 4 号

TEL 03-3664-6243

◆ 当社企業情報に関するディスクロージャー資料は当社の本・支店、日本商品先物取引協会の本部・支部および HP で閲覧できます。